



並木中等story

令和2年10月2日号

前期終業式 校長講話(2)

9月30日に行われた前期終業式の校長講話のつづきです。

三つ目はメインの話です。コミュニケーションについてです。

コミュニケーションと聞いて皆さんはどのようなことを思い浮かべますか？

かつて、私はいかに上手に伝えようかということを必死に考えていました。当然、伝えることも大切なことです。今、コミュニケーションで注目されているのは聴くことです。門構えの聞くではなく、耳偏の聴くです。

皆さんは上手に聴くことはできるでしょうか。

学校でもプレゼンテーション等、伝える学習は多くありますが、聴く練習は限られています。実は**他人の話を聴く、正しく聴くことはとても難しいこと**なのです。

まず、お勧めしない聴き方・聞いていることになってない聴き方を紹介します。

- ・頭では別のことを考えながら聴く
- ・相手をよそみをしてしながら、又、下を向いて聴く
- ・相手の話を聞いていながら、自ら話を始め、さえぎってしまう。
- ・相手の話に対して、反論を考えながら聴く
- ・早く話が終わらないかと思いながら聞く

このようなことでは、相手は聴いてもらったとは思わないでしょう。

では、どのような聴き方がよいのか。

- ・相手の方を見て、時々うなずきながら聴く ・話を遮らない。
- ・話を聴いていて、違うと思ってもひとまず聴いた後で、自ら感じたこと、思ったことを伝える。
- ・間が開いたときに、「こういう気持ちだったんだね」と返してあげる。

そして、もっとも大切な事

- ・**自らの心もしっかり聴こうと準備**ができている。

自分の話を聴いてもらいたいなら、相手の話も聴いてあげる。これは親子でも兄弟の間でも大切なことです。コミュニケーションの基礎でもあります。

相手の話を聴ける人と聴けない人の大きな違いは分かりますか

それは“人としての器”です。話を聴けない人は、他の人をうけいれる器が小さい人です。逆に、**話を聴ける人は、ゆとりがあり、他の人を受け入れる器が大きな人**です。皆さんには コミュニケーション能力を高め、人の話を受け止められる器の大きい人を目指してもらいたいと思います。

